

### Ⅲ. 各種機関との交流

#### 2. 1. 2 中国 杭州視察

期間:平成 21 年 3 月 5 日～3 月 7 日

参加者:熊澤(現代 GP 兼 A 科)、小村(I 科)、船戸(A 科)

#### ◆ 杭州職業技術学院 訪問概要 ◆

日 時:平成 21 年 3 月 6 日 午前 9 時から 10 時

場 所:杭州職業技術学院 事務棟会議室(501 号室)

参加者:沈海娟(主任・電子情報系教員),栄 先林(建築系教員),陸 穎(外事秘書),  
他一名

#### 概要

##### a.訪問校の基本情報

- ・学生:18 歳から 21 歳(高校課程卒業の後入学。但し一部は職業高校からの入学)
- ・杭州職業技術学院では、2 学部 6 学院設置。学部は工学系の基本科目を教授する機関。
- ・学院は企業からスポンサー料をもらい運営している。学院での実習内容は、企業利益に直結する仕組みであり、その学院出身の学生は、スポンサー企業に就職することが多い。

##### b.交流企画について

- ・ブリッジコンテスト(船戸):ブリッジに限らず幅広く構造コンテストを提案したが、構造理論ならびに解析などの教育をしておらず、難色を示している。
- ・プログラミングコンテスト(小村):学院での教育課程では、おもにハードウェアに密接した制御などのプログラムや電子デバイスに関連する教育が中心で、日本で行われているプログラミングが主体のプロコンのような企画の対応は難しい様子。
- ・環境／設計関係の企画(熊澤):共同での課題(水辺空間の周辺整備に関わる計画)競技などを話題提供した結果、とりあえず検討しても良い様子。今後の話し合いにより進展の可能性あり。

### c.学生の交流の可能性

- ・夏休み:7月7日から8月末／冬休み:旧正月(1月から2月の約3週間程度)
- ・休暇を利用した学生交流は可能であることを、双方確認した。特に夏休みに日本に招待する可能性が現実的であった。

### d.学内案内

- ・栄先生の誘導で学内を紹介。
- ・造園演習場:建築系では、学院敷地内のエリアでいくつか典型的な建築構造物の模範が企業から提供されており、実習の教材として使用すること。なお学生により設計した庭園計画を学生による施工する予定。
- ・農業用プラント:企業により出資して作られたビニルハウス内の見学。ハウス内では、企業により商品研究されている商品を学生が教材として管理・育成を行う。企業から指導を受けて教育を行っている模様。

### e.連絡先

- ・陸 穎(外事秘書)\*:dzb@hazvtc.edc.cn
- ・沈 海娟(主任・電子情報系教員):shenhaijuanxdx@163.com
- ・栄 先林(建築系教員):rxl9807@126.com



## ◆ 西湖見学 ◆

日時:3月5日 14時から16時半まで

### 概要

- 西湖周辺の視察および遊覧船による巡回。



- 現在、西湖は水を22日で総入れ替えしている所以水質は極めて良好な状態となっている。もともとは現在の河北潟と同じ閉鎖水域であったが、観光産業振興のため国の事業により水質を良くする工事により、湖水の総入れ替えが行われている。
- 堤(Sudi)は、もともとは、湖底のヘドロを浚渫することで出来上がった堤である。また、湖内の小島は、浚渫泥によりできているとのこと。経年により現在では地盤が建物を建てられるほど安定したものもある。